

環境負荷の認識

現在、地球環境の悪化が急速に進み、2050年には、3つの地球が必要になるとさえ言われています。企業として地球環境の保全に貢献するには、まず、事業活動全体の環境負荷を正確に把握することが重要です。リコーグループでは、資源枯渇を防ぐための「省資源・リサイクル」、温暖化防止のための「省エネルギー」、そして「汚染予防」を環境保全活動の大きな領域とし、製品および事業所、それぞれの分野での取り組みを進めています。

また、これらの活動をより効果的に推進するために、「環境マネジメントシステム」「環境経営情報システム」「環境教育・啓発」「人事制度」「環境社会貢献」「安全衛生」「環境コミュニケーション」「環境会計」などの基盤の充実に努めています。

各領域における2000年度の環境負荷削減実績とレビューについては、45ページをご覧ください。

[基 盤]

環境マネジメントシステム
..... p16

環境経営情報システム
..... p19

環境教育・啓発
..... p47

人事制度
..... p49

環境社会貢献
..... p51

安全衛生
..... p57

環境コミュニケーション
..... p61

環境会計
..... p65

[領 域]

省資源・リサイクル(製品)
..... p39

資源枯渇を防止するために、リサイクル対応設計、リサイクルネットワークの構築、リサイクル製品の開発を行っています。

省資源・リサイクル(事業所)
..... p25

工場のごみゼロ化などを通して、最小の資源で最大の効果をあげる「完全生産」の実現を目指しています。

省エネルギー(製品)
..... p35

地球温暖化の防止のために優れた省エネルギー製品の開発・販売を行っています。

省エネルギー(事業所)
..... p29

電力の効率利用や新エネルギーシステムの導入により、温暖化防止に取り組んでいます。

汚染予防(製品)
..... p31・38

製品に含まれる化学物質の適切な管理、有害物質の使用禁止・削減を行っています。

汚染予防(事業所)
..... p31

製品の製造工程における有害物質の使用・排出・廃棄量の削減を行っています。

